

### 3 事業概要

#### 3.1 環境情報部環境活動推進課

##### 3.1.1 企画調整業務

調査研究の企画調整、研究成果の公表及び環境全般についての普及啓発に関する業務を行った。

#### (1) 調査研究業務の企画調整

平成 28 年度調査研究課題として設定したプロジェクト研究等 4 課題について、研究結果説明会で内部評価を行った。

また、平成 30 年度の調査研究課題について、調査研究計画説明会において内部評価を、また調査研究推進委員会による外部評価を行った。

事業名又は項目	概要
ア 調査研究課題の調整	H30年度の調査研究課題の設定を行った。
イ 内部評価	H28年度調査研究課題の研究結果説明会をH29. 5. 23 (火)、H30年度調査研究計画説明会をH30. 2. 5 (月) に開催し、評価を行った。
ウ 外部評価	H30年度調査研究課題について、学識経験者 4 名で構成する調査研究推進委員会 (委員長 桜美林大学リベラルアーツ学群片谷教孝教授) をH30. 2. 15 (木) に開催し、計画外部評価を行った。 <評価対象> ①相模湾沿岸域におけるマイクロプラスチック汚染の実態解明 (プロジェクト研究) ②神奈川県におけるPM2. 5中のタンパク質の実態把握 (プロジェクト研究) ③PM2. 5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明 (共同研究)

#### (2) 研究成果の公表

調査研究成果を広く紹介するため、業績発表会及び環境研究合同発表会を開催するとともに、研究報告の発行、学会等への発表を行った。

※**ゴシック表記**の氏名は、当時センター職員であることを示す。

事業名又は項目	概要
ア 環境研究合同発表会	当センターと横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する「神奈川県市環境研究機関協議会」の主催により、環境月間中のH29. 6. 7 (水) に横浜市技能文化会館において、「第41回環境研究合同発表会」を開催した。参加者157人 <当センターの演題> ①建築物解体時の環境中アスベスト濃度調査 ( <b>朝倉純【調査研究部】</b> ) ②シミュレーションモデルを用いたPM2. 5の解析研究 ( <b>小松宏昭【調査研究部】</b> )
イ 業績発表会	H29. 10. 6 (金) にラスカ平塚ラスカホールにおいて、環境科学センター業績発表会を開催した。参加者48人 <演題> ①箱根大涌谷の火山ガス濃度の推移 ( <b>池貝隆宏【調査研究部】</b> ) ②合併処理浄化槽の設置によるダム湖上流河川の水質改善効果 ( <b>長谷部勇太【調査研究部】</b> ) ③葉山町発 生ごみ処理器「キエーロ」の上手な使い方とは? ( <b>中山駿一【調査研究部】</b> ) ④神奈川県内の河川における臭素系難燃剤の環境実態 ( <b>三島聡子【調査研究部】</b> ) ⑤神奈川県内の大気汚染の状況 ( <b>飯田信行【環境情報部】</b> )

事業名又は項目	概要
ウ 研究報告の発行	<p>「平成29年版(2017)神奈川県環境科学センター研究報告 第40号」をH29.12に当センターwebサイトに掲載した。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①箱根山大涌谷の火山ガス濃度の推移(池貝隆宏、十河孝夫【調査研究部】、代田寧【温泉地学研究所】、吉田直哉【自然環境保全センター】、菅野重和【災害対策課】)</p> <p>②序列化手法を用いた水源河川における底生動物の群衆解析(飯田信行【環境情報部】)</p> <p>③神奈川県における臭素系難燃剤の環境実態(三島聡子【調査研究部】)</p> <p>④箱根山大涌谷の52号蒸気井から放出される火山ガスの測定結果(十河孝夫、秀平敦子【調査研究部】、代田寧、本間直樹【温泉地学研究所】)</p> <p>⑤犬越路におけるオゾン濃度の経年変化(武田麻由子、十河孝夫【調査研究部】、北見丘、美濃口薫【農業技術センター】)</p> <p>⑥三浦半島から採集されたカマキリ(アユカケ)(スズキ目:カジカ科)(齋藤和久【環境情報部】、萩原清司【横須賀市自然・人文博物館】、出島誠一【ずしし環境会議・まちなみと緑の創造部会】)</p>
エ 学会等への発表	調査研究成果について、論文等の発表(表3.1.1-1、表3.1.1-2)を行った。
オ その他	<p>① 調査研究の成果に基づく特許の保有状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許5561752号(H26.6.20)「アルコールの製造方法」(発明者 渡邊久典) ※H29.6.20特許消滅</li> </ul> <p>② 調査研究その他の業績により、職員が平成29年度中に受けた表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29.9.29(金)「全国環境研協議会関東甲信静支部支部長表彰」(秀平敦子【調査研究部】)</li> <li>・H29.11.14(火)「神奈川県環境農政局長表彰」(環境監視システムセキュリティ強化対策チーム【環境情報部】)</li> <li>・H29.11.14(火)「神奈川県環境農政局長表彰」(大気水質課光化学スモッグyahoo!防災速報活用チーム【環境情報部】)</li> <li>・H29.12.11(月)「神奈川県職員功績賞～職員の業務上の功績に関する知事表彰～」(丹沢ブナ林再生プロジェクトチーム【調査研究部】)</li> <li>・H30.2.21(水)「全国環境研協議会会長賞」(長谷川敦子【調査研究部】)</li> </ul>

表 3.1.1-1 論文等発表

著者【所属】	題目	学会誌等名称
池貝隆宏、長谷部勇太、三島聡子【調査研究部】、小林幸文【環境科学センター】	海岸漂着量の評価のためのマイクロプラスチック採取方法	全国環境研会誌、42(4)、54-59(2017)
三島聡子【調査研究部】	神奈川県内の河川底質におけるアルキルフェノール及びビスフェノールAの分配性と底生生物のリスク評価	環境化学、27(3)、39-53(2017)
小松宏昭【調査研究部】	微小粒子状物質(PM2.5)に関する研究について	しんかんきょう、(139)、12-13(2017)

著 者【所属】	題 目	学会誌等名称
横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、佐藤哲身【北海学園大】、矢野 隆【熊本大】	Combined Effects of High-Speed Railway Noise and Ground Vibrations on Annoyance	International Journal of Environmental Research and Public Health、14、845、(2017)
松田 貫【大和ハウス工業総合技術研究所】、富田隆太【日本大】、小谷朋央貴【フジタ】、横島潤紀【環境情報部】、伊積康彦【鉄道総研】	交通機関を対象とした建築空間の振動測定点に関する測定経験者へのアンケート調査	日本建築学会技術報告集、23(54)、521-524 (2017)
池貝隆宏【調査研究部】	マイクロプラスチックって何？ -相模湾沿岸でマイクロプラスチックの実態調査を開始-	しんかんきょう、(141)、8-9 (2018)
米持真一【埼玉県環境科学国際センター】、小松宏昭【調査研究部】、齊藤伸治【東京都環境科学研究所】	入門講座 大気環境モニタリング-第5講 微小粒子状物質常時監視と成分分析-	大気環境学会誌、53、A1-A8、(2018)

表 3.1.1-2 口頭発表 (\* : ポスター発表)

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
三島聡子【調査研究部】	神奈川県内の河川におけるヘキサブロモシクロドデカンの実態	第 26 回環境化学討論会 H29.6 (静岡県コンベンションアーツセンター)
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	石川県と富山県における北陸新幹線鉄道沿線の居住環境調査：開通1年後の社会調査	日本建築学会北陸支部大会研究発表会 H29.7 (信州大)
横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、佐野泰之【愛知工大】、松本泰尚【埼玉大】	Secondary analysis of social survey on community response to transportation vibration in Japan	12th IC BEN Congress on Noise as a Public Health Problem H29.6 (チューリッヒ (スイス))
森長 誠【防衛施設協会】、横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、川井敬二【熊本大】、矢野 隆【熊本大】	Community tolerance level for transportation noises derived from the Socio-Acoustic Survey Data Archive, SASDA	
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	Living environment survey along Hokuriku Shinkansen railway: Social survey conducted one year after opening	

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
グイエン・ツラン【島根大】、矢野 隆【熊本大】、森原 崇【石川高専】、 <b>横島潤紀</b> 【環境情報部】、森長 誠【防衛施設協会】	Comparison of annoyance response measured with IC BEN 5-point verbal and 11-point numerical scales in Japanese and Vietnamese	
<b>小松宏昭</b> 【調査研究部】、常松展充【東京都環境科学研究所】、原 政之【埼玉県環境科学国際センター】、菅田誠治【国立環境研究所】	神奈川県における化学輸送モデルを用いた PM2.5 の発生源寄与解析 (2) -夏季高濃度解析結果-	第 58 回大気環境学会年会 H29.9 (兵庫医療大)
<b>武田麻由子</b> 、 <b>小松宏昭</b> 、 <b>石割隼人</b> 、 <b>十河孝夫</b> 【調査研究部】、志村 徹、福崎有希子【横浜市環境科学研究所】、鈴木義浩、田中佑典【川崎市環境総合研究所】(神奈川県公害防止推進協議会 PM2.5 等対策検討部会)	神奈川県における大気中アンモニア濃度の測定結果	
<b>石割隼人</b> 【調査研究部】	神奈川県における PM2.5 に含まれる有機化合物の季節変動	
山本勝彦、奥村智憲、西村理恵【大阪府立環境農林水産総合研究所】、浦西克維【大阪大】、 <b>小松宏昭</b> 【調査研究部】、清水 厚、菅田誠治【国立環境研究所】	化学輸送モデルとライダー観測データを用いた大阪上空のエアロゾルイオン成分鉛直分布の把握について	
力 寿雄【福岡県保健環境研究所】、土肥正敬【長崎県環境保健研究センター】、船木大輔【島根県保健環境科学研究所】、中坪良平【兵庫県環境研究センター】、西村理恵【大阪府立環境農林水産総合研究所】、山本真緒【奈良県景観・環境総合センター】、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、 <b>武田麻由子</b> 【調査研究部】、長谷川 就一【埼玉県環境科学国際センター】、梅田真希【群馬県衛生環境研究所】、小野寺甲仁【岩手県環境保健研究センター】、菅田誠治【国立環境研究所】*	2016 年 5 月における PM2.5 高濃度事例の解析③	
<b>横島潤紀</b> 【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、佐野泰之【愛知工大】、松本泰尚【埼玉大】	鉄道振動に対する住民反応に騒音が及ぼす影響	日本騒音制御工学会秋季研究発表会 H29.11 (東京電機大)
森長 誠【防衛施設協会】、 <b>横島潤紀</b> 【環境情報部】、矢野 隆【熊本大】	環境騒音に対する苦情の発生に関連する因子についての検討	
<b>横島潤紀</b> 【環境情報部】、森長 誠【防衛施設協会】、矢野 隆【熊本大】	環境騒音に対する苦情反応の要因に関する検討	日本音響学会騒音・振動研究会 H30.2 (中央大)

### (3) 人材育成

県・市町村環境担当職員研修等を行った。

事業名又は項目	概要
ア 大気水質等担当職員研修	<p>県及び市町村の職員を対象に、研修を行った。</p> <p>①環境保全関係法令研修            主要な環境保全関係法令の基礎知識、許認可の事務手続き等に関する14講座の研修を4日間（H29.5.8(月)～16(火)）行った*。受講者延べ158人</p> <p>②技術研修            騒音及び臭気測定法の実習、アスベストの観察実習、水質の簡易分析法に関する17講座の研修を4日間（H29.6.6(火)～H29.11.14(火)）で行った。            受講者延べ78人</p> <p>* 県立国際言語文化アカデミアで実施</p>
イ 廃棄物対策担当職員研修	<p>県及び廃棄物処理法政令4市の職員を対象に、廃棄物関係法令の基礎知識、許認可の事務手続き、行政検査の方法等に関する14講座の研修を3日間（H29.5.10(水)～17(水)）行った*。受講者延べ115人</p> <p>*県立国際言語文化アカデミア、かながわ環境整備センターで実施</p>
ウ 環境行政専門研修	<p>県職員を対象に、環境行政の主要政策と課題や環境関連計画の改定の概要等に関する研修を2日間（H29.4.11(火)、19(水)）行った*。受講者23人</p> <p>*藤沢合同庁舎大会議室で実施</p>
エ 環境学習担当者職員研修	<p>県及び市町村の環境学習担当職員を対象に、環境教育や環境学習の実践等に関する研修をH29.5.19(金)に行った。受講者15人</p>
オ 市町村環境業務担当職員研修	<p>市町村の環境業務担当職員を対象に、水質調査委託業務管理に役立てるため分析操作及び分析値の精度管理手法を習得する5講座の研修をH29.6.21(水)に行った。受講者7人</p>
カ 研修派遣	<p>環境省環境調査研修所に職員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省環境調査研修所主催研修           <ul style="list-style-type: none"> <li>アスベスト分析研修                H29.6.12(月)～16(金) 長谷部勇太</li> <li>環境汚染有機化学物質（POPs等）分析研修                H29.10.16(月)～27(金) 大塚寛人</li> </ul> </li> </ul>

### (4) 依頼に基づく職員の派遣

市町村、団体等から要請のあった出前講座等への講師派遣、及び審議会等への委員派遣を行った。

事業	概要
ア 講師派遣	<p>国、大学等の研修会、講習会への講師派遣を行った。11回（表3.1.1-3）</p>
イ 出前講座	<p>学校、市民団体等の出前講座への講師派遣を行った。24回            受講者数1,593人（表3.1.1-4）</p>
ウ 審議会、委員会等への派遣	<p>市町村の審議会、国の委員会、県の各種協議会等への委員派遣を行った。</p> <p>&lt;派遣先&gt;</p> <p>①市町村の審議会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市環境審議会</li> <li>・平塚市環境審議会</li> <li>・鎌倉市環境審議会</li> <li>・鎌倉市生活環境整備審議会</li> <li>・寒川町環境審議会</li> <li>・二宮町環境審議会</li> </ul>

事業	概要
ウ 審議会、委員会等への派遣（続）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぐみ中間処理施設整備検討委員会（厚木愛甲環境施設組合）</li> <li>②国の設置した委員会等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルキル水銀測定法国際標準化委員会（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】）</li> <li>・ クロム価数分離測定法国際標準化委員会（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】）</li> <li>・ 新技術導入のための工場排水試験法に関する JIS 開発「JIS K 0102 改正金属委員会」（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】）</li> <li>・ 新技術導入のための工場排水試験法に関する JIS 開発「JIS K 0102 原案作成委員会」（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】）</li> <li>・ 環境リスク評価委員会曝露評価分科会（国立研究開発法人国立環境研究所）</li> <li>・ 化学物質環境実態調査分析法開発検討会議（LC/MS）（（一財）日本環境衛生センター【環境省委託】）</li> <li>・ 化学物質環境実態調査分析法開発等検討会議系統別部会（大気系）（（一財）日本環境衛生センター【環境省委託】）</li> <li>・ 化学物質環境実態調査分析法開発等検討会議系統別部会（LC/MS）（（一財）日本環境衛生センター【環境省委託】）</li> <li>・ 化学物質環境実態調査LC/MSノンターゲット分析法・スクリーニング分析法検討会（（一財）日本環境衛生センター【環境省委託】）</li> <li>・ 新幹線鉄道騒音予測・評価手法検討委員会（（株）ニューズ環境設計【環境省委託】）</li> <li>・ 将来の車外騒音検討委員会（（公社）自動車技術会共同研究センター【環境省委託】）</li> <li>・ 道路交通振動検討会（（株）中央クリエイト【環境省委託】）</li> <li>・ 嗅覚検査委員会（（公社）におい・かおり環境協会【環境省委託】）</li> <li>・ 臭気測定認定事業所審査委員会（（公社）におい・かおり環境協会【環境省委託】）</li> <li>・ JIS Z 8731 改正原案作成委員会（（一社）日本音響学会）</li> </ul> </li> <li>③県の協議会等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水源環境保全・再生施策推進会議（環境農政局水源環境保全課）</li> <li>・ 科学技術政策推進会議（政策局総合政策課）</li> <li>・ 丹沢大山自然再生委員会（環境農政局自然環境保全センター）</li> <li>・ 丹沢大山保全対策推進会議（環境農政局自然環境保全課）</li> <li>・ 横浜市・川崎市・神奈川県ヒートアイランド問題連絡協議会（環境農政局環境計画課）</li> <li>・ 箱根山火山防災協議会幹事会（安全防災局災害対策課）</li> <li>・ 大涌谷周辺安全対策検討部会（安全防災局災害対策課）</li> <li>・ 火山ガス安全対策専門部会（安全防災局災害対策課）</li> <li>・ 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会（県民局青少年センター）</li> <li>・ 神奈川県生活科学研究ネットワーク連絡会（県民局消費生活課）</li> </ul> </li> </ul>

表 3.1.1-3 講師派遣

所属	講師	演題等	派遣先（主催機関）	実施日
環境情報部	横島潤紀	騒音・振動防止研修	環境省環境調査研修所	H29. 4. 27(火) H29. 5. 15(月)
調査研究部	小松宏昭	神奈川県におけるシミュレーションモデルを用いたPM2.5の発生源解析	大気環境学会関東支部	H29. 6. 2(金)
所 長	小林幸文	神奈川県の実環境問題への取組と現状	神奈川県とホーチミン市の環境技術交流会	H29. 10. 19(木) ～21(土)
調査研究部	小松宏昭	神奈川県環境科学センターが取り組む技術的課題について	横浜国立大学	H29. 11. 10(金)
調査研究部	小松宏昭	化学輸送モデルを用いたPM2.5の解析事例	全国大気汚染防止連絡協議会第63回全国大会	H29. 11. 17(金)
環境情報部	横島潤紀	公害防止管理者等フォローアップ研修会	公益社団法人神奈川県環境保全協議会	H29. 12. 13(水)
調査研究部	大塚寛人	化学物質環境実態調査環境科学セミナー（ポスター発表）	一般財団法人日本環境衛生センター	H30. 1. 16(火)
調査研究部	池貝隆宏	神奈川県環境科学センターが取り組む技術的課題（実習）	横浜国立大学	H30. 1. 19(金)
環境情報部	寺下明文	化学物質管理について	平塚地区環境対策協議会	H30. 2. 16(金)
調査研究部	十河孝夫	2015年箱根山噴火における対応事例	大気環境学会環境大気モニタリング分科会	H30. 3. 16(金)
調査研究部	大津岩男	一般廃棄物最終処分場にかかる職員研修	県央地域県政総合センター環境部	H30. 3. 20(火)

表 3.1.1-4 出前講座

所属	講師	講座名	依頼元	実施日	参加者数
環境情報部	野中幸裕	この時代に環境問題を考えるということ	湘南白百合学園中等・高等学校	H29. 4. 25(火)	185人
環境情報部 調査研究部	野中幸裕 三島聡子 武田麻由子	夏休み自由研究アドバイス	湘南白百合学園中等・高等学校	H29. 5. 16(火)	180人
環境情報部	野中幸裕	ごみの分別とリサイクル	県立瀬谷西高等学校	H29. 5. 30(火)	35人
環境情報部	野中幸裕	PM2.5の概要と研究相談	県立弥栄高等学校	H29. 6. 9(金)	4人
環境情報部	寺下明文	神奈川の大気（光化学）・水環境の現状	独立行政法人国立印刷局小田原工場	H29. 6. 13(火)	96人
環境情報部	野中幸裕	ごみの分別とリサイクル	県立瀬谷西高等学校	H29. 6. 16(金)	39人
環境情報部	齋藤和久	川の生き物観察会	ずしし環境会議まちなみと緑の創造部会	H29. 6. 18(日)	33人
調査研究部	武田麻由子	大気汚染の植物影響	県立相原高等学校	H29. 6. 30(金)	40人

所属	講師	講座名	依頼元	実施日	参加者数
環境情報部	齋藤和久	用水路で生き物さがし	伊勢原市立石田小 子供クラブ心の翼 自然観察ものづくり教室	H29.7.1(土)	12人
環境情報部 調査研究部	齋藤和久 長谷部勇太	田んぼたんぼ探検隊	湘南地域県政総合センター	H29.7.8(土)	17人
環境情報部	齋藤和久	河内川生きもの調べ	河内川あじさいの会	H29.7.17(月)	182人
環境情報部	齋藤和久	田んぼや用水路の生き物観察会	豊田の里を守る会	H29.7.22(土)	57人
環境情報部	齋藤和久	水生生物の採集方法	子どもと親の環境教室「地球っこひろば」	H29.7.24(月)	6人
環境情報部	齋藤和久	川の生き物観察会	平塚市土屋公民館	H29.7.25(火)	51人
環境情報部	野中幸裕	ごみの分別とリサイクル	県立瀬谷養護学校	H29.7.28(金)	70人
環境情報部	齋藤和久	川の生き物観察会	金目川水系流域ネットワーク	H29.7.30(土)	153人
環境情報部 調査研究部	齋藤和久 長谷部勇太	中津川夏休み生き物観察会	NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会	H29.8.16(水)	41人
環境情報部 調査研究部	齋藤和久 長谷部勇太	中津川夏休み生き物観察会	NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会	H29.8.23(水)	42人
環境情報部	野中幸裕	地球温暖化について	浦賀青少年育成活動地域連絡会	H29.10.26(木)	32人
環境情報部	野中幸裕	ごみの分別とリサイクル	新荏田地区社会福祉協議会	H29.10.27(金)	30人
環境情報部	野中幸裕 白玉 翠	地球環境問題についての気づき	県立平塚中等教育学校	H30.1.29(月)	63人
環境情報部	野中幸裕	持続可能な社会を考える	小田原市環境保護課	H30.1.31(水)	124人
環境情報部	野中幸裕 白玉 翠	地球環境問題についての気づき	県立平塚中等教育学校	H30.2.13(火)	77人
調査研究部	朝倉 純	アスベストについて	海老名市環境みどり課	H30.2.27(火)	24人



(5) 広報及び普及啓発

当センターの事業に関する広報等を行った。

事業名又は項目	概 要
ア 記者発表	<p>行事案内 1 件及び募集案内 3 件の記者発表を行った。</p> <p>&lt;発表事項&gt;</p> <p>①環境調査手法を習得し地域環境保全を実践！！－「平成 29 年度環境活動実践講座」受講生の募集－（H29. 4. 12(水)）</p> <p>②河川のモニタリング調査の県民調査員（ボランティア）を募集します（H29. 4. 17（月））</p> <p>③「第41回環境研究合同発表会」を開催します－身近な環境問題や環境技術をテーマに研究成果を発表－（H29. 4. 25(火)）</p> <p>④あなたも環境実践活動を地域に広める指導者になりませんか！平成 29 年度環境学習リーダー養成講座のご案内（H29. 8. 22(火)）</p>
イ 施設公開等	<p>①科学技術週間施設公開 H29. 4. 21(金)～22(土) 見学者 20 人</p> <p>②子ども科学探検隊（県青少年科学体験活動推進協議会）H29. 8. 8(火) 参加者 11 人</p> <p>③施設見学（随時） 見学者 325 人（9回）</p>
ウ イベント参加	<p>①湘南ひらつかテクノフェア2017 H29. 10. 26(木)～28(土)（主催 平塚商工会議所、開催場所 ひらつかサン・ライフアリーナ）</p> <p>②かながわ科学技術フェア2017 H29. 11. 11(土)（主催 県(総合政策課)、開催場所 新都市プラザ（横浜駅東口））</p> <p>③Think Eco ひらつか2017 H29. 11. 11(土)（主催 横浜ゴム株式会社平塚製造所）</p>
エ 年報の発行	<p>「平成29年版(2017)年報 第49号」をH30. 1に発行し、当センターwebサイトに掲載した。</p>
オ インターンシップ学生の受入れ	<p>県が実施しているインターンシップ（学生実習生受け入れ制度）により H29. 7. 24(月)～28(金)の 5 日間、大学生 1 人を受け入れた。</p>

(6) 他機関との連携

県内及び全国の地方公共団体環境研究機関と交流・連携し、調査研究に関する技術の向上を図った。

事業名又は項目	概 要
<p>ア 神奈川県市環境研究機関協議会</p>	<p>当センターと横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する「神奈川県市環境研究機関協議会」において、情報交換や研究成果の合同発表会、研修会を開催した。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①定例会            第1回 H29.5.18(木) 川崎市環境総合研究所研修室            第2回 H30.1.23(火) 川崎市環境総合研究所研修室</p> <p>②第41回環境研究合同発表会(再掲)            H29.6.7(水) 横浜市技能文化会館 参加者157人</p> <p>③研修会            H30.2.21(水) カルッツかわさき大会議室 参加者60人            講演「市街地と河川のマイクロプラスチック汚染」            東京理科大学 教授 二瓶 泰雄 氏</p>
<p>イ 全国環境研協議会</p>	<p>全国環境研協議会(地方自治体の設置する環境保全及び公害防止施策に係る試験研究機関で組織)に参画し、機関相互の運営に関わる連絡、情報交換、共同調査研究等を行った。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①第46回総会            H30.2.21(水) (公財)都道府県会館402</p> <p>②研究・発表会等の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立環境研究所とのⅡ型共同研究(9課題中3課題に参画)           <ul style="list-style-type: none"> <li>「植物の環境ストレス診断法の確立と高度化に関する研究」</li> <li>「PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明」</li> <li>「高リスクが懸念される微量化学物質の実態解明に関する研究」</li> </ul> </li> </ul> <p>③環境省の施策及び予算に対する要望書の提出</p> <p>④酸性雨全国調査への参画</p> <p>⑤全国環境研協議会会長賞(再掲)            H30.2.21(水) (公財)都道府県会館402            受賞者 長谷川敦子【調査研究部】</p>

事業名又は項目	概要
イ 全国環境研協議会（続）	<p>また、関東甲信静エリアの16都県市の地方公共団体環境研究所で構成する関東甲信静支部において情報交換等を行った。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①支部総会 H29.9.29(金) 東京都江戸東京博物館学習室</p> <p>②専門部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気専門部会 H29.11.29(水) 埼玉県環境科学国際センター研修室 I 演題発表「箱根山大涌谷の蒸気井及び自然噴気孔から放出される火山ガスの測定」(十河孝夫【調査研究部】)</li> <li>・水質専門部会 H29.10.20(金) 大宮ソニックシティ研究室9階905室 演題発表「神奈川県における臭素系難燃剤の環境実態」(三島聡子【調査研究部】)</li> <li>・水質専門部会東京湾連絡会 H29.10.27(金) 横浜市環境創造局環境科学研究所大会議室 (三島聡子【調査研究部】)</li> <li>・騒音振動専門部会 H29.7.14(金) 千葉市総合保健医療センター4階会議室 演題発表「高速鉄道から発生する騒音・振動に対する社会反応の相互効果」(横島潤紀【環境情報部】)</li> </ul> <p>③環境測定分析統一精度管理ブロック会議 H30.2.27(火) JA長野県ビル11A会議室(大道章一【調査研究部】)</p> <p>④全国環境研協議会関東甲信静支部長表彰(再掲) H29.9.29(金) 東京都江戸東京博物館 受賞者 秀平敦子【調査研究部】</p>
ウ 神奈川県公害防止推進協議会	<p>横浜市、川崎市及び神奈川県で構成する神奈川県公害防止推進協議会の浮遊粒子状物質対策検討部会において、県内の微小粒子状物質の実態と発生源を把握するため、PM2.5高濃度時の試料採取及び分析、解析を行っている。H29年度は春季に2回試料採取を行い、H28年度に採取した高濃度時試料の分析及び解析を行った。また、H29年度は、予測が困難であるが地域由来の汚染による高濃度の発生が見込まれる秋冬期に連続試料採取を行った。</p>
エ 関東地方大気環境対策推進連絡会	<p>関東甲信静地方の1都9県7市で構成する関東地方大気環境対策推進連絡会において、微小粒子状物質の広域的な汚染実態と発生源を把握するため、H28年度の季節別の構成成分の把握や高濃度日を対象とした解析を行った。</p>

### 3. 1. 2 環境学習業務

環境学習講座の開催、環境学習施設の県民利用、環境学習情報の発信等に関する業務を行った。

#### (1) 環境学習講座の開催

環境問題や環境保全活動に関心のある県民向けに環境学習リーダー養成講座、環境活動実践講座及びスキルアップ講座を開催した。

事業名又は項目	概要		
ア 環境学習リーダー養成講座	地域で環境学習活動を行う人材（環境学習リーダー）の育成を目的として、意欲のある県民を対象に、環境問題の基礎知識や活動手法等に関する講座を開催した。 <実績> 受講者 43 人 修了者 20 人（科目の 8 割以上を受講した者）		
	開催日	講座のテーマ	講師
	H29. 9. 30(土)	環境科学センターの紹介と施設見学(講義・施設見学) 本当に地球にやさしいって何だろう？(ワークショップ)	環境科学センター職員 NPO 法人 開発教育協会 伊藤容子
	10. 14(土)	環境学習論(講義) 電卓で計算する環境リスク評価入門(講義)	立教大学教授 阿部 治 環境科学センター職員
	10. 21(土)	野外環境学習の実践法 <sup>※1</sup> (講義)	大井町教育委員会おおい自然園 一寸木肇
	10. 28(土)	愛川太陽光発電所・愛川第一発電所・宮ヶ瀬ダム・城山発電所(施設見学)	企業庁相模川発電管理事務所職員・(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 水とエネルギー館職員
	11. 11(土)	廃棄物について(講義) 海岸ごみの取組みと実態(講義)	環境科学センター職員 (公財)かながわ海岸美化財団 柱本健司
	11. 18(土)	最近のトピック～土壌汚染について～(講義) 小学生向け環境体験教室「汚れた水をきれいにしましょう」(講義・実習)	環境科学センター職員 (NPO 法人)神奈川県環境学習リーダー会 浜辺謙吉
	11. 25(土)	生物多様性について考えるーなぜ生物多様性は必要なのかー(講義)  市民活動について(講義)	神奈川大学法学部 自治行政学科教授 川瀬 博  (一社)ソーシャルコーディネーターかながわ 代表理事 手塚明美
※1 大井町ゆめの里で実施			

事業名又は項目	概要																				
イ 環境活動実践 講座	環境保全活動に関心を持つ県民を対象に、活動を実践するうえで役立つ知識や技術に関する講座を開催した。 <実績> 受講者 10 人 修了 8 人 <table border="1" data-bbox="480 367 1445 1189"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 367 676 405">開催日</th> <th data-bbox="676 367 1059 405">講座のテーマ</th> <th data-bbox="1059 367 1445 405">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 405 676 562">H29. 5. 27(土)</td> <td data-bbox="676 405 1059 562">水生生物の概論について (講義) 河川水や水生生物の調査手法について (実習) ※1</td> <td data-bbox="1059 405 1445 562">環境科学センター 職員 環境科学センター 職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 562 676 757">6. 3(土)</td> <td data-bbox="676 562 1059 757">田んぼなど水辺生態系保全 (顕微鏡観察も簡易に実施) (講義と実習) 生態系調査手法について (講義と実習) ※2</td> <td data-bbox="1059 562 1445 757">環境科学センター 職員 東海大学教養学部教授 藤吉正明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 757 676 913">6. 10(土)</td> <td data-bbox="676 757 1059 913">公定法及び簡易測定法による測定(実習) PM2.5 と簡易測定法について (講義と実習)</td> <td data-bbox="1059 757 1445 913">環境科学センター 職員 環境科学センター 職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 913 676 1070">6. 17(土)</td> <td data-bbox="676 913 1059 1070">現地見学※3</td> <td data-bbox="1059 913 1445 1070">(公財) 大和市スポーツ・よか・みどり財団職員 しらかしのいえ ボランティア協議会会員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1070 676 1189">6. 24(土)</td> <td data-bbox="676 1070 1059 1189">簡易測定法について (実習) 環境調査実践手法について (実習)</td> <td data-bbox="1059 1070 1445 1189">環境科学センター 職員 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 理事 柳川三郎</td> </tr> </tbody> </table> ※1 川音川で実施 ※2 実習は平塚市総合公園で実施 ※3 大和市泉の森で実施			開催日	講座のテーマ	講師	H29. 5. 27(土)	水生生物の概論について (講義) 河川水や水生生物の調査手法について (実習) ※1	環境科学センター 職員 環境科学センター 職員	6. 3(土)	田んぼなど水辺生態系保全 (顕微鏡観察も簡易に実施) (講義と実習) 生態系調査手法について (講義と実習) ※2	環境科学センター 職員 東海大学教養学部教授 藤吉正明	6. 10(土)	公定法及び簡易測定法による測定(実習) PM2.5 と簡易測定法について (講義と実習)	環境科学センター 職員 環境科学センター 職員	6. 17(土)	現地見学※3	(公財) 大和市スポーツ・よか・みどり財団職員 しらかしのいえ ボランティア協議会会員	6. 24(土)	簡易測定法について (実習) 環境調査実践手法について (実習)	環境科学センター 職員 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 理事 柳川三郎
開催日	講座のテーマ	講師																			
H29. 5. 27(土)	水生生物の概論について (講義) 河川水や水生生物の調査手法について (実習) ※1	環境科学センター 職員 環境科学センター 職員																			
6. 3(土)	田んぼなど水辺生態系保全 (顕微鏡観察も簡易に実施) (講義と実習) 生態系調査手法について (講義と実習) ※2	環境科学センター 職員 東海大学教養学部教授 藤吉正明																			
6. 10(土)	公定法及び簡易測定法による測定(実習) PM2.5 と簡易測定法について (講義と実習)	環境科学センター 職員 環境科学センター 職員																			
6. 17(土)	現地見学※3	(公財) 大和市スポーツ・よか・みどり財団職員 しらかしのいえ ボランティア協議会会員																			
6. 24(土)	簡易測定法について (実習) 環境調査実践手法について (実習)	環境科学センター 職員 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 理事 柳川三郎																			
ウ スキルアップ 講座	環境学習リーダーのスキルアップを目的に開催した。 <実績> 第1回 受講者28人 第2回 受講者33人 <table border="1" data-bbox="480 1458 1445 1733"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 1458 676 1496">開催日</th> <th data-bbox="676 1458 1059 1496">講座のテーマ</th> <th data-bbox="1059 1458 1445 1496">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 1496 676 1615">第1回 H29. 7. 13(木)</td> <td data-bbox="676 1496 1059 1615">森林と河川底生動物の関わり</td> <td data-bbox="1059 1496 1445 1615">国立大学法人東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教 加賀谷 隆</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1615 676 1733">第2回 H29. 12. 14(木)</td> <td data-bbox="676 1615 1059 1733">マイクロプラスチック (MP) 問題の現状と課題</td> <td data-bbox="1059 1615 1445 1733">環境科学センター 調査研究部 部長 池貝 隆宏</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	講座のテーマ	講師	第1回 H29. 7. 13(木)	森林と河川底生動物の関わり	国立大学法人東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教 加賀谷 隆	第2回 H29. 12. 14(木)	マイクロプラスチック (MP) 問題の現状と課題	環境科学センター 調査研究部 部長 池貝 隆宏									
開催日	講座のテーマ	講師																			
第1回 H29. 7. 13(木)	森林と河川底生動物の関わり	国立大学法人東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教 加賀谷 隆																			
第2回 H29. 12. 14(木)	マイクロプラスチック (MP) 問題の現状と課題	環境科学センター 調査研究部 部長 池貝 隆宏																			

## (2) NPO と連携した環境学習事業の実施

かながわサイエンスサマー事業として、当センターの環境学習講座の修了者が中心となって活動している（特非）神奈川県環境学習リーダー会と共催で、小学生を対象に夏休み子ども環境体験教室をリーダー会会員を講師として開催した。参加総数 346 人

開催日	内 容	参加者数
H29. 7. 31(月)	人工の雲をつくろう	41 人
7. 31(月)	人工の雲をつくろう（2回目）	41 人
8. 1(火)	身近な物で電池を作ろう	35 人
8. 1(火)	森の木エクラフトで森を考えよう	29 人
8. 2(水)	汚れた水をきれいにしよう	27 人
8. 2(水)	手づくり顕微鏡で生き物を観察しよう	44 人
8. 3(木)	見えない空気について調べよう	27 人
8. 3(木)	プラスチックのリサイクル実験教室	33 人
8. 4(金)	いろいろな方法で発電してみよう	33 人
8. 4(金)	環境地球儀を作ろう	36 人

## (3) 環境学習施設利用者支援

環境学習施設及び環境学習用資機材の貸出を行った。

事業名又は項目	概 要															
ア 環境学習施設の貸出	<p>環境学習施設 4 施設を貸出するとともに、実験指導などの利用者の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>主な貸出先等</th> <th>施設利用数*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境学習室</td> <td>環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）</td> <td>1,214 人（46 件） 【689 人（22 件）】</td> </tr> <tr> <td>実習室</td> <td>環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）</td> <td>1,209 人（70 件） 【497 人（16 件）】</td> </tr> <tr> <td>環境資料室</td> <td>県民</td> <td>6 人（2 件）</td> </tr> <tr> <td>環境活動室</td> <td>環境保全団体</td> <td>92 人（11 件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※【 】内は、当センター主催講座における件数で内数</p>	施設名称	主な貸出先等	施設利用数*	環境学習室	環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）	1,214 人（46 件） 【689 人（22 件）】	実習室	環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）	1,209 人（70 件） 【497 人（16 件）】	環境資料室	県民	6 人（2 件）	環境活動室	環境保全団体	92 人（11 件）
施設名称	主な貸出先等	施設利用数*														
環境学習室	環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）	1,214 人（46 件） 【689 人（22 件）】														
実習室	環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）	1,209 人（70 件） 【497 人（16 件）】														
環境資料室	県民	6 人（2 件）														
環境活動室	環境保全団体	92 人（11 件）														
イ 環境学習用資機材の貸出	<p>環境学習用のビデオ・DVD、環境測定用機器、観察機器等の貸出を行った。 実績 延べ57台（41件）</p>															

## (4) 環境学習情報の提供

環境学習のためのホームページを運用し、環境学習に関する情報を発信した。

事業名又は項目	概 要
ア 地球環境学習ひろば	<p>環境学習講座開催情報、施設利用案内、教材ダウンロード、環境活動人材情報検索等の情報を提供した。アクセス数 698,930 件</p> <p>URL <a href="http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/center/contents.html">http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/center/contents.html</a> (H29 年 12 月 27 日以降は、 <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/index.html">http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/index.html</a>)</p>